

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム

管理・運営事業体の組成に向けた 事業者間の協議の場「ワーキンググループ (WG)」発足に関する説明会

資料②WG発足に関する説明資料

2025年09月08日

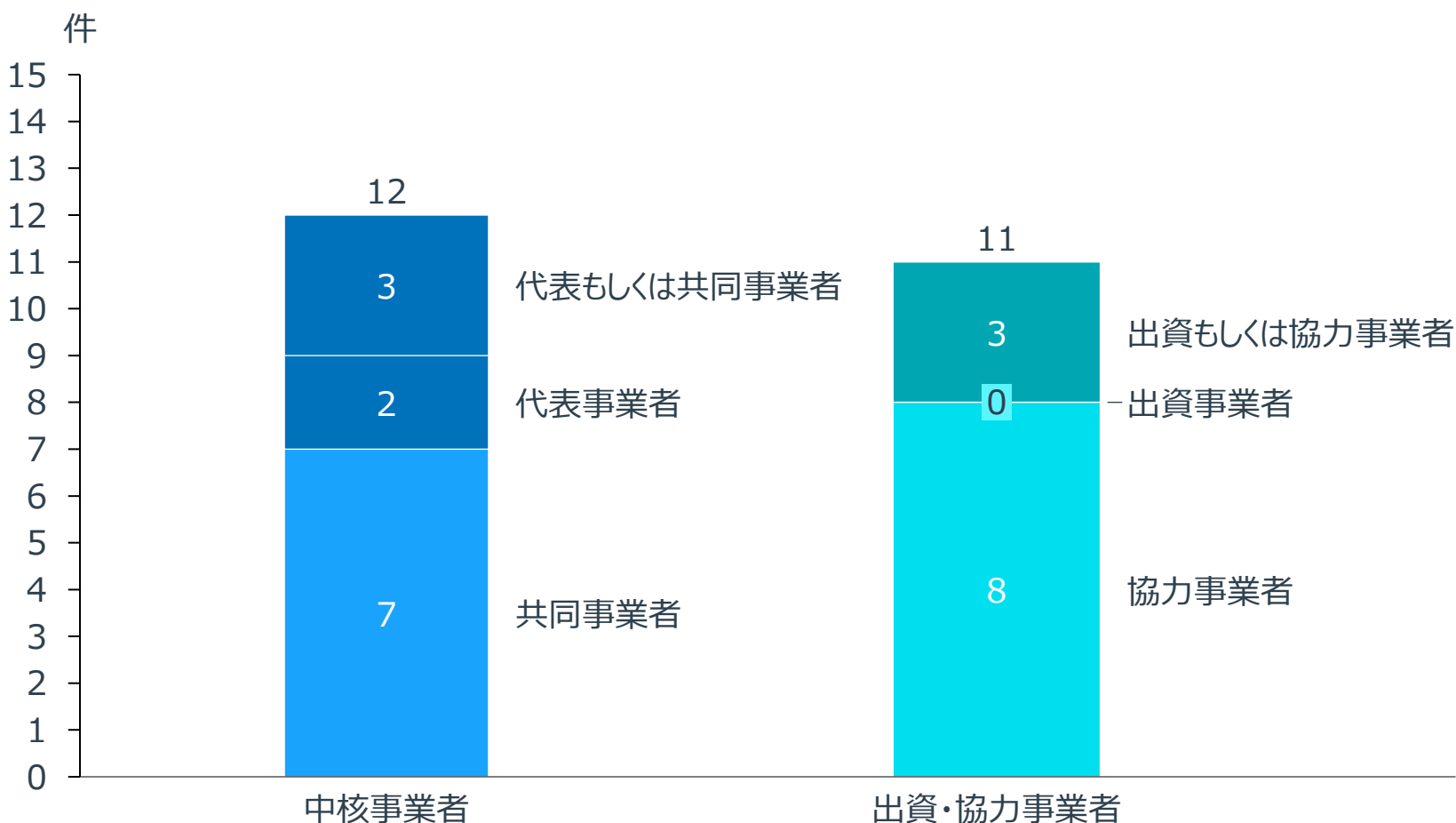
株式会社NTTデータ経営研究所
社会・環境システム戦略コンサルティングユニット

目次

1. アンケート結果の共有
 2. WGの概要
 3. WGの協議の進め方
 4. 管理・運営事業体の理念・基本方針(仮)について
- Appendix

1.アンケートの結果の共有

6/23～7/4にPF会員を対象とした現時点における管理・運営事業体への参画希望を確認するアンケートを実施したところ、23件の回答があった



1.アンケートの結果の共有 | 代表・共同事業者

No.	業種	希望	具体的な参画イメージ	参画に際し求める条件
1	デザイン系	共同事業者	● 共同事業者として、飯田・リニア駅周辺のUI・UXのデザイン、マネジメントを実施したい	● 調査、立案、詳細設計、実装までUI・UXに幅広く関与したい
2	飲食系	共同事業者	● 商工会議所と協力してリニア駅の管理を行いたい	● 特になし
3	エネルギー系	代表事業者	● 飯田・リニア駅周辺のエネルギー供給・マネジメントサービスを実施したい	● 現在では参画を示させていただきましたが、出資含めて詳細がわからない状態である為、詳細がはっきりした時点でご提示いただき、検討を進めて行きたいと思います
4	食品系	代表事業者	● 飯田・リニア駅周辺の事業計画及び個別事業への参画	● 検討範囲と責任範囲の明確化
5	建設系	代表もしくは共同事業者	● 駅前広場に限らず、リニア駅周辺一帯の中で どんな関わり・事業が考えられるか検討していきたい。	
6	建設系	共同事業者	● 広場の維持管理事業・イベント事業	● 広場の維持管理する為の機材置き場・専用事務所・休息所などの施設。
7	デザイン系	代表もしくは共同事業者	● 代表事業者への参画等、積極的に関わっていききたいとは考えております。今後のプラットフォームから、良い立ち位置を模索していきたいと考えております。	● 多くの利益が出るとは考えづらく、赤字にはならない様な持続性のある事業計画を策定したいと考えております。その為には、公共性担保したうえでの、民間視点による柔軟な発想運営が必要と考えております。社会常識の範囲内で、自主性と自由度の高い管理・運営事業体となる事を期待しております。
8	飲食系	共同事業者	● どの程度参画できるかはタイミングによりますが、できる限り積極的に当地域の交流人口を増やすために参画していきたいと考えています。	● 少し求める条件とはことなるかもですが、飯田下伊那がそれぞれの個性を発揮して元気になる取り組みを、官民一体となり、農商工を盛り上げていきたいです。一部の既得権益や、特定の地域のみに入人が集まる政策にならぬように政策を考えていただきたいと思います。
9	建設系	共同事業者	● 地元の人間と、観光客で賑わう駅前広場の運営と、維持管理を行いたい	● 透明性のある事業経営
10	団体	共同事業者	● XXXXXXXXとして賑わいを想定したイベント企画の協力	● XXXXXXXX事業を起こす人に対して配慮してもらいたい
11	エネルギー系	共同事業者	● バイオマスエネルギー事業（熱供給 発電 燃料供給）	
12	物販・小売系	代表もしくは共同事業者	● ご相談の上	● 現状では何もわかっていません。 打合せ・ご相談を重ね、地域にとって良い選択ができればと思っています。

XXXXXXXX：個社情報が識別できてしまう情報への伏せ字

注：本内容は事務局による電話等の確認を踏まえて精査した回答内容となっております

1.アンケートの結果の共有 | 出資・協力事業者

No.	業種	希望	具体的な参画イメージ	参画に際し求める条件
1	団体	協力事業者	● 地元食材を使用した飲食店が出店された場合、食材情報の提供、納品。移住就農相談会の開催。等	
2	サービス系	出資・協力事業者	● 現時点ではまだ決めていません	● 現時点ではまだわかりません
3	福祉系	協力事業者	● 子どもたち、若者、保護者の居場所創出、保育、教育のサポート	
4	通信系	出資・協力事業者	● XXXXXXXXの得意分野を活かした協力は惜しみません。出資については会社判断を要するので即答しかねます。	● 地元の企業を優先的に参画させてほしいです。
5	建設系	協力事業者	● 未定	
6	飲食系	協力事業者	● 協力事業者として、飲食店の出店もしくはプロデュースをしたい	● 地元の人が止める駐車場はもう少し外へ持っていきたい。駅が開業すれば東京・愛知方面からの利用客数の方が圧倒的に多いと思われる。 ● 元善光寺への参道を作りたい。
7	飲食系	協力事業者	● 協力事業者として、飲食関係もしくは、農産物、加工品の販売のテナントなり、キッチンカーで、できればと考えています。	
8	デザイン系 (県外企業)	協力事業者	● 協力事業者として施設運営にあたってのコンセプト立案やイベント等の実施により、来場者に対し継続的な顧客体験やコミュニケーション施策を提供	● 出資は難しいため、運営主体からの委託もしくは指定管理としての関与を希望
9	建設系	協力事業者	● ガーデンの整備、ボランティアを活用した整備後のメンテナンスなどのお役に立てれば	● 特にございません
10	飲食系	協力事業者	● 地域の伝統食の販売。	
11	団体	出資もしくは協力事業者	● XXXXXXXX	● XXXXXXXX

2.WGの概要

管理・運営事業体の組成に向けて、管理・運営事業体への参画を希望するプラットフォーム会員間で、希望・参画イメージなどをもとにしたWGを設置して協議を実施する

協議の場(WG)の概要

- 管理・運営事業体の組成に向けて、管理・運営事業体への参画を希望するプラットフォーム会員間で協議を実施する

協議の場(WG)の概要

位置づけ	● 管理・運営事業体への参画を希望する事業者等*1によって構成される、特に飯田・リニア駅内での管理・運営事業体の設立・運営を中心に議論するプラットフォームに内包された組織 ● 分類別に複数WGは設置される
条件	● アンケート(2025年6月)にて、現時点で管理・運営事業体への参画・協力希望を有していることを示す
開催方法	● 飯田市内外の事業者等*1が参加する可能性を踏まえてWeb会議(Teams等)を用いて、2025年10月上旬～11月下旬程度までに2～3回/WG別 程度の開催を想定している ● 日程調整は事務局にてメールなどで行う
議論対象	● リニア開業を見据えつつ目前に迫った一部供用開始時点の管理・運営事業体の設立・運営に関わる組織構造(出資比率など)や、管理・運営事業体を実施する事業、飯田市含む各ステークホルダーの関与の在り方等を中心とする
進行方法	● 現時点の想定では座長は設けず、事務局より各WGにファシリテーターを派遣のうえ協議を実施する

*1 : WGの参加者は事業者だけでなく、飯田市や、地域イベントを企画する市民等も含まれる他、オブザーバーとして長野県等の他行政機関の参加もありうる

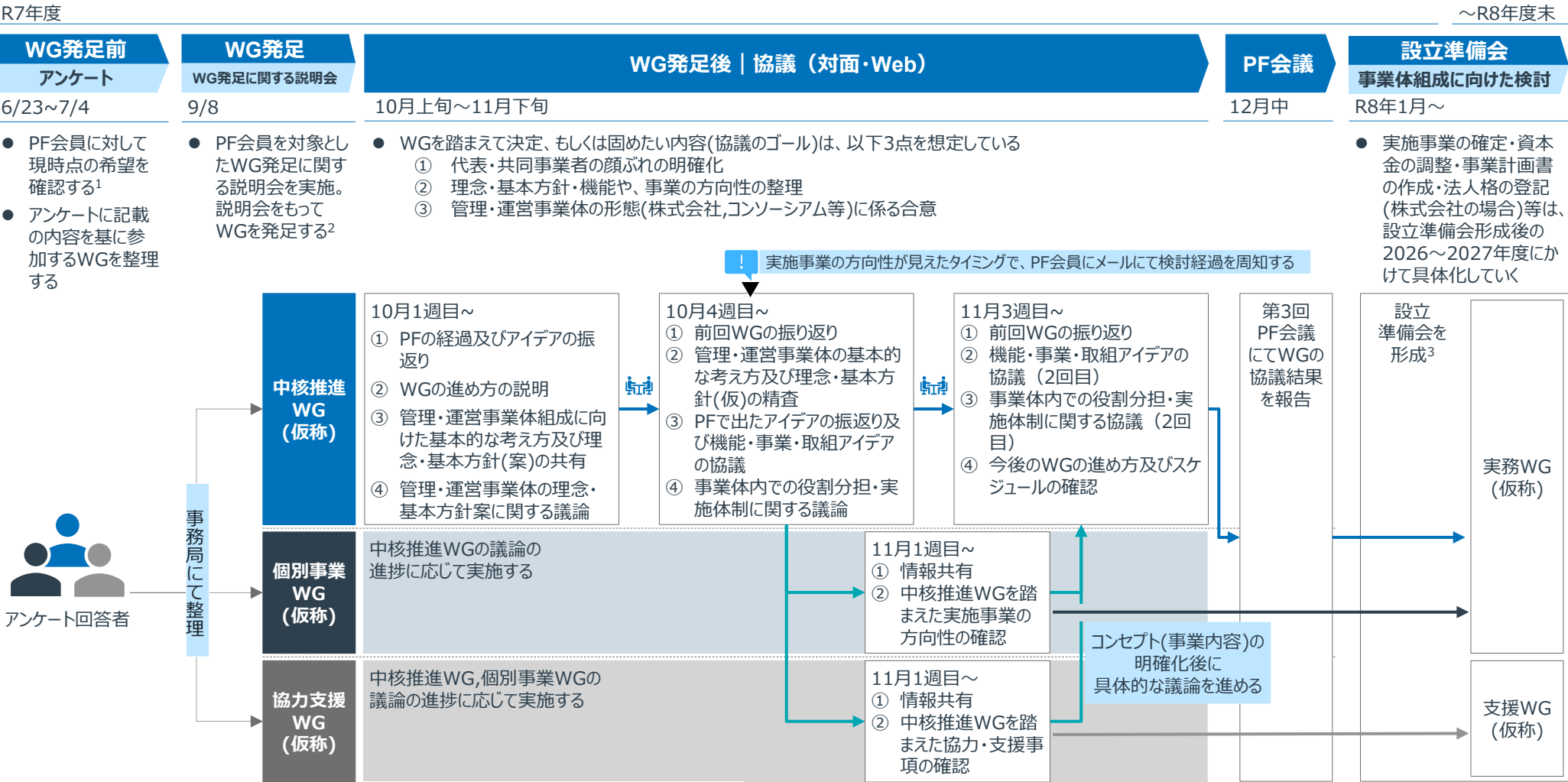
設置するWGの種類

- アンケート(2025年6月)にて示された現時点の希望や参画イメージを踏まえて、3種類のWGに参加希望者を振り分けて議論を実施する

WG名称	概要
中核推進WG (仮称)	● 事業の方向性や全体経営に関与し、事業を牽引する管理・運営事業体の経営を担う候補のメンバーを集めたWG
個別事業WG (仮称)	事業者 市民 ● 自身の強みを活かし、管理・運営事業体を実施する個別事業の企画・運営を担う実働候補のメンバーを集めたWG ※個人事業主や地域住民も参加可
協力支援WG (仮称)	事業者 市民 ● 出資・商品提供・情報連携などを通じて、周辺から管理・運営事業体の事業を支援する応援候補のメンバーを集めたWG

3.WGの協議の進め方 | 全体像

管理・運営事業体のコンセプト(理念・基本方針含む)の整理および管理・運営事業体の形態の明確化と、各事業者の管理・運営事業体参画に向けた議論は段階を分けて進めていく方針である



4.管理・運営事業体の理念・基本方針(仮)について

実施内容のベースとなる理念・基本方針は、「大切にしていきたい視点」を踏まえながら、WGにおける事業者の皆様との議論のうえで整理する

大切にしていきたい視点

飯田・リニア駅前空間デザインノートの考え方

目指す姿	● 信州・伊那谷の個性で世界を惹きつけ、世界へ発信する玄関口
整備 コンセプト	● 機能的コンパクトな駅空間－高度なトランジットハブの形成によりスムーズな乗換えを実現 ● 自然との調和を目指した駅空間－豊かな自然環境に配慮し環境モデル都市飯田を実現
設計方針	● アクセスやバリアフリーに優れた駅前空間 ● 人のつながりと伊那谷全域へといざなう駅前空間 ● 住民や来訪者の居場所となる駅前空間 ● 時代を先取りし、変化に対応できる駅前空間 ● 伊那谷の風景の魅力を引出す駅前空間
リニア 駅前空間 の考え方	● “結いの広場” - 時を結う、風景を結う、暮らしを結う、人を結う、地域を結う 結いの広場 ～リニア駅前空間デザインの考え方～ (飯田・リニア駅前空間デザインノートより) (以下)駅前広場は、地域の風景や歴史、生活を思い起こし、駅に近接した公共空間として整備する。 駅前広場の整備は、まちづくりの中心となる駅前広場の整備と、駅前広場の整備とを一体的に図る。

プラットフォームで大切にしている3つの視点

- ① 駅前広場の賑わいの創出
- ② 地域経済の好循環
- ③ まち全体を見ながら駅前広場が持つべき機能

飯田・リニア駅前広場を核としてまちの付加価値が 上がっていくという視点

出典：飯田市「飯田・リニア駅前空間デザインノート2024」より

管理・運営事業体の理念・基本方針(仮)

理念 Vision	● 自然との調和を基盤に、 飯田らしい「上質なローカル」 を体現した賑わいと憩いの場となる駅前広場を創出する。 ● 同時に、日本初・世界初となるような斬新で先進的な取組を積極的に取り入れ、過去・現在を繋ぎながら 地域のブランド価値を高める 場とする。 ● これらにより、“ 結いの広場 ”を実現し信州・伊那谷へ人を誘うとともに、飯田・リニア駅前広場を核としたまちの付加価値向上を目指す。
1 賑わいと 憩いの創出	● 開通前は地域住民にとっての賑わい・憩いの場を形成し、開通後は域外来訪者を含めた広域的な賑わいを創出する。 ● 開通前からインバウンド等の地域外からの来訪を意識した仕組みづくりを進める。
2 持続可能性 の確保	● 事業の経済的な持続可能性を追求するだけでなく、得た収益を地域（住民・企業）に還元する施策に活用することで、社会的な持続可能性を維持する。
3 自然との 調和	● 景観への配慮、グリーンインフラや再生可能エネルギーの利活用などを通じ、環境への配慮・自然との共生を図る。
4 文化と 先進性の 融合	● 信州・伊那谷らしさや地場産品・伝統芸能といった地域文化を活かすとともに、日本初・世界初となるような先進的・独創的な取組を積極的に導入し、地域ブランド価値を高める。
5 協調と共存	● まち全体を見ながら飯田・リニア駅が持つべき機能を考え、駅前広場周辺の既存事業と競合しない、周辺との協調・補完的な関係を構築する。
6 地域資源の 最大活用・ 波及効果	● 飯田、信州・伊那谷さらには長野に有する資源を効果的に活用し、広域的な波及効果の創出を目指す。

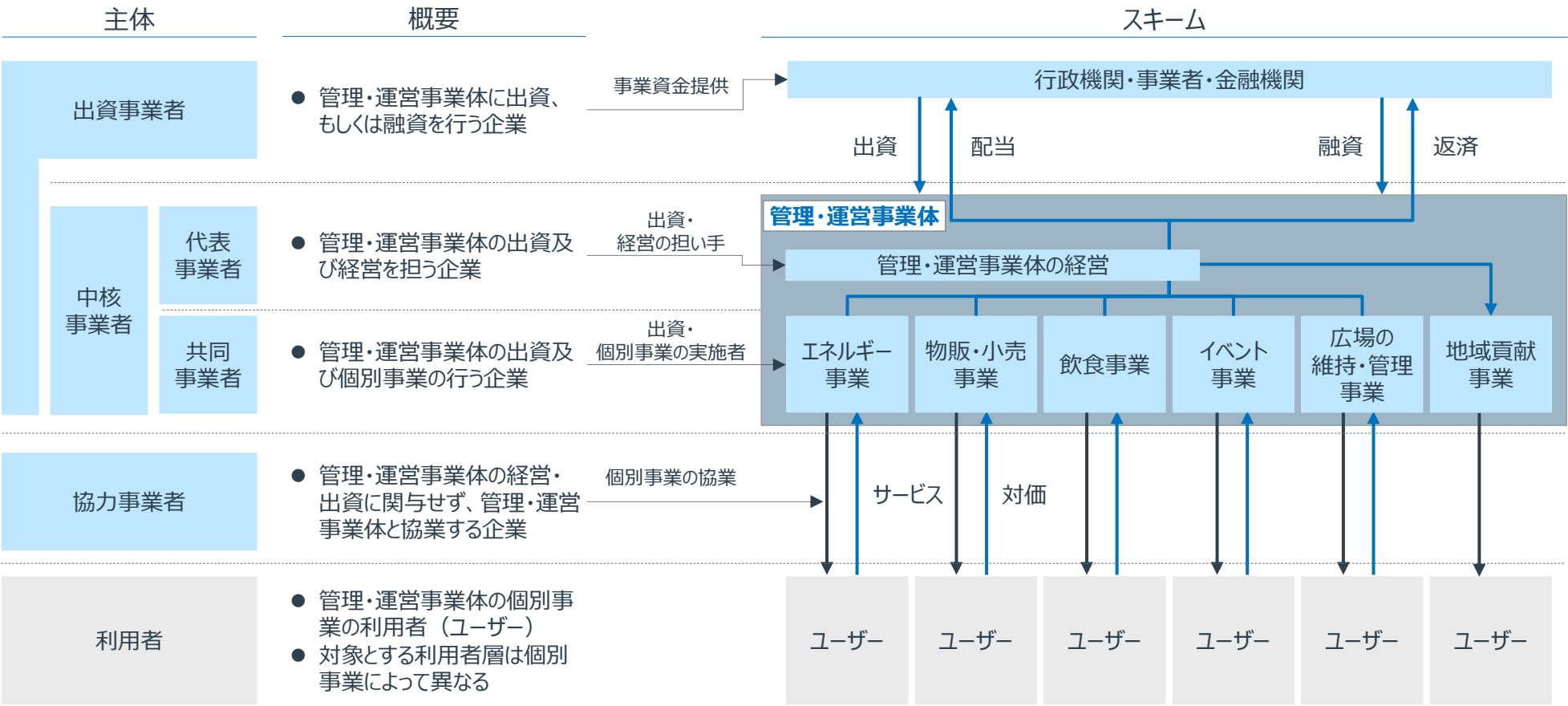
※上図は現時点の事務局整理案。今後WGの協議を踏まえてブラッシュアップする

Appendix | 管理・運営事業体の実施体制の一例

管理・運営事業体の実施体制の一例として、行政機関・事業者・金融機関等が出資する株式会社等の形態をお示しする

管理・運営事業体の実施体制の一例

凡例  : キャッシュフロー  : サービスフロー





Lighting the way
to a brighter society